

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア王国
2. 案件名	カンボジア国プノンペンにおける学校コミュニティへの安全教育導入プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジアは 1990 年代の内戦終結以降、目覚ましい経済発展を遂げてきているが、経済政策を重視する一方で、高度経済成長期の日本と同様に、交通事故、盗難、洪水、医療といった分野におけるリスク管理には課題を抱えている。国民の命を守る安全・安心な社会の構築への対策が十分ではなく、特に子供の命や人権を守る上で、性被害や略取・誘拐、ドラッグやサイバーセキュリティに関する事件、事案はその実態が明らかになっていないだけに懸念が大きい。カンボジアにおける、「青少年育成に関する国家行動計画 2022-2026」では、「健康と幸福」を政策優先事項の一つに位置付け、青少年の健康、能力、美徳、知識、技能、道徳心を育成し、平和と調和の中で共に生きることを目指している。児童の安全を担保し「健康と幸福」に資するため、幼児期から小学生にかけて、安全意識を高め、危険を予測・回避する能力を向上させることが重要であり、カンボジアの小学校においてリスクマネジメント能力とスキル育成が必要である。
4. プロジェクト目標	現地教員が安全教育（防犯）授業を主体的に実践できるようになる
5. 対象地域	プノンペン
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：ブレア・ノロドム小学校教員（5 名）、ブレア・ノロドム小学校 3 年生児童（約 200 名）、ブレア・ノロドム小学校 3 年生児童保護者（約 200 名） 間接受益者：プノンペン市内の小学校
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1.ブレア・ノロドム小学校（C/P）の教員、教育省や教育局、保護者（＝学校コミュニティ）の、安全教育を学校教育に導入することの必要性についての意識が開発される。 2.現地教員(ブレア・ノロドム小学校 3 年生教員)が、探究型防犯学習の内容と授業方法を理解し、授業実践できるようになるとともに、カンボジア版安全教育プログラム(探究型防犯学習)が作成される。 3.ブレア・ノロドム小学校だけではなく、安全教育の必要性・有用性をプノンペンの他の学校に共有する。 <活動> 1-1.安全教育導入イベント開催 2-1.ブレア・ノロドム小学校 3 年生を対象に本邦専門家がデモンストレーション授業実施。ブレア・ノロドム小学校 3 年生教員 5 名に授業内容、授業方法をレクチャーする。 2-2.ブレア・ノロドム小学校教員が 3 年生に「探究型防犯学習」を実践。本邦専門家、スタッフが授業をモニタリング。 2-3.現地教員と本邦専門家で授業終了後協議会をもち授業評価。「カンボジア版探究型防犯学習」の改訂授業案を作成。 2-4.教員の授業実践用マニュアル（授業案）を含めた安全教育プログラムを作成。小学校 3 年生版安全教育プログラム（防犯）のクメール語版を作成。 2-5.安全教育（防犯学習）をブレア・ノロドム小学校のカリキュラムに組込む。 2-6.プノンペン教育局が開催する校長セミナーで、ブレア・ノロドム小学校での探究型防犯学習の実践について報告 3-1.安全教育実践シンポジウムの企画運営会議を実施 3-2.安全教育実践シンポジウムを開催 3-3.本邦研修実施。安全教育シンポジウムを開催（於、奈良学園大学）
8. 実施期間	2026 年 3 月～2029 年 2 月（2 年 11 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,880 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	ブレア・ノロドム小学校、教育・青少年・スポーツ省、プノンペン市教育・青少年・スポーツ局
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	学校法人奈良学園
2. 主な活動内容	学校法人奈良学園は、奈良学園大学・大学院をはじめ、幼稚園・認定こども園から小学校、中学校・高等学校までを設置する総合学園である。奈良学園大学の「人間力」教育を柱に、地域・国際社会で活躍する人材の育成に取り組んでいる。